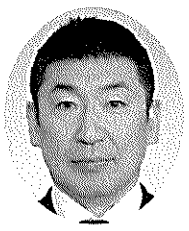
昨羽工高新聞

第147号

発行所
石川県羽咋市西釜屋町
石川県立羽咋工業高校
TEL (0767) 22－1193
編集兼発行
羽咋工高生徒会新聞部

人生二度無し

校長　中越　顕治



「何をしに羽工に来ているのですか」

四月から皆さんに問いかけてきました。「それは勉強に決まっとる」、「自分は部活動」、「友達といるのが楽しいから、友達に会いに来ている」と生徒たちは答えていました。

私が皆さんに問いたいのはもっと深いところ、「自分の将来を見つめ、そのために『真剣に』『全力で』何かを求めていますか」ということです。

●人生の荒波に立ち向かうために、自分を鍛えていますか。

●自分を成長させようと常に心掛けていますか。

●経験から、学ぼうとしていますか。

●今、全力で取り組むことがあり、挑戦していますか。

私自身の少年～青年期を振り返ると、小さいころから「人に迷惑をかけるな。自分がされて嫌なことは人にするな」を心掛けて生活していました。周囲からの言葉を素直に聞く子供でした。逆に自分で考えて自分で決めることはほとんどありませんでした。ただ、母の影響からか、いつも周囲を明るくしようと考えていました。

高校時代、自分で一つだけ決めて、死に物狂いでやったことがあります。部活動の剣道です。日々の練習は過酷で、よく血尿が出ました。練習が苦しい時や人間関係で上手くいかない時、面白くない時など、何度もやめたいと思いました。総体優勝を目指していたのですが、最後の総体では自分が負けたせいでチームも敗退しました。そのあと泣いて、暫く呆然としていました。

部を引退した後、やる気が出てきませんでした。大学受験があるにもかかわらず、友達は物凄い勢いと集中力で勉強しているのに、私は勉強しませんでした。切り替えが下手でした。毎日何となく無駄に時間を過ごしていました。

運よく大学に入学できました。やはりここでも部活動を死に物狂いでやりました。大学の全国大会に選手で出場できたのですが、ここでも高校時代と同じく私は負けて悔しい思いをしました。

ここまでで学んだことは、一つ、死に物狂いでやっても死ぬことはない。人間の体は頑丈にできているということ。

二つ、本気でやらなくては、何も身にならないということ。

時がたって、人生の折り返しを過ぎ、五十八歳になりました。あと死ぬまでに二十年あまり。人生を振り返り、剣道を生涯練習し続け、夢を追い続けたことと、家族を持ち、子供を成人させたことが良かったなとしみじみ思っています。

生徒の皆さん、あなた方に願うことは、自分で決めた何かに全力を尽くしてほしいということです。その結果失敗しても★大丈夫。是非とも、一つの目標に向かって全力を出し切る経験をしてほしい。この二度とない人生の中で最も輝いている今、羽工での高校時代を充実させてほしいのです。

そうした日々を送った羽工での最後の日、卒業式が終わって校門を出ていくとき、「たくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。」と一礼していくような若者になってほしい。

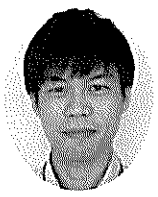
教員になって、人を指導するには、人間についての勉強をしなければならないと気づき、沢山本を読みました。一番これだと思った言葉があります。これが私の人生の理念です。

人生二度無し

新任先生紹介コーナー

1　氏名・担当教科
2　前任校
3　趣味・特技
4　羽工生の印象
5　羽工での抱負

①酒井　藤夫　国語科
②田鶴浜高校との兼務
③演劇(七尾市民劇団代表)
④目的意識が高く、多方面に興味関心が高いのではないか。
⑤授業を通して相互に伸長できるようにしたい。



①堂口　大輔　数学科
②遊学館高等学校
③ゲーム・数学の問題を解く・目覚ましで必ず起きる。
④明るく元気で挨拶がしっかりできる。

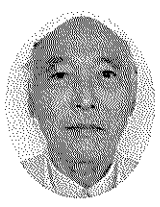
①池田　真実　理科
②内灘中学校
③ドライブ・銭湯めぐり
④あいさつが立派で元気な生徒が多い。
⑤皆さんが楽しく学校生活を送ることができるように頑張ります。

①草木　康裕　理科
②七尾東雲高等学校との兼務(農業)
③サイクリング・野菜作り
④廊下でのあいさつや、授業開始の規律がよく守られていて大変素晴らしい。中間考査も気持ちよく採点でき、今後も期待したい。
⑤この一年、気力、体力が続くように生徒の皆さんから元気をもらって頑張りたい。

①彦　恒　機械システム科
②石川県立工業高等学校
③スポーツ観戦(特に野球)
④素直でまっすぐな生徒が多い。元気なあいさつができる。
⑤進路実現に向けて少しでも力になりたい。

①守山　匠　電気科
②羽咋工業高等学校

①勝間　瑞樹　建設・デザイン科建築コース
②なし
③写真撮影・ドライブ・ツーリング
④工業高校というものに対して持っていたイメージとは真逆で、清潔かつ品行方正な生徒が多い。
⑤みなさんが怪我なく授業、実習をおこなえるように頑張ります。



①大野　元義　建設・デザイン科土木コース
②羽咋工業高等学校
③音楽鑑賞・陶芸
④元気で明るい
⑤健康に気をつけてゆったりと

①中井　隆　建設・デザイン科デザインコース
②金沢北陵高等学校
③昔は車をいじるのが好きでした。今は維持で手一杯です。自宅のガレージを居心地の良い空間にすることにハマってます。
④可能性の塊ですね。何故かというと性格が良く理解力が高い生徒が多いと感じたからです。望めば夢は叶う！と言いたいです。
⑤楽しい！自由だ！と心の底から味わうためには日々自律した成長を目指さなければと感じています。昔偉い先生が顔の絵について「鼻が上手に描けていたら8割完成や」と言いました。これに倣い、楽しさと自由について伝えることができたら8割成功位でいきたいです。

①池田　明美　事務部事務長
②田鶴浜高等学校

前期生徒会役員任命式

四月二十一日(金)に校長室にて、令和五年前期生徒会役員任命式がおこなわれました。校長から一人一人に任命書が渡され、任命された役員全員が抱負を述べました。最後に校長先生から羽咋工業高校の生徒の代表として、学校を盛り上げてほしいという激励をいただきました。

会長　深見　奏太（三年機械システム科）
副会長　山本　京佳（三年電気科）
副会長　中村　咲介（三年電気科）
書記　竹田まとい（三年建設・デザイン科）
会計　高田　美鶴（三年建設・デザイン科）
文化委員長　三浦　聖悟（三年建設・デザイン科）
体育委員長　赤井希咲果（三年建設・デザイン科）

①稲荷　彗流　事務部
②中能登土木総合事務所
③韓国ドラマを観ること
④挨拶が元気で、気持ちが良いです。
⑤生徒のみなさんをしっかりとサポートできる職員になることです。また、自分自身も常に学び続けて成長していきたいと思います。

③断捨離
④元気がよくて素晴らしいです。
⑤学校に貢献できるよう精進してまいります。

令和5年度　第56回校内陸上競技大会　大会結果

男子個人順位

種目	順位	HNo.	氏名	記録
100m	優勝	2224	前田　蒼空	12″40
	2位	1225	西　颯斗	12″68
	3位	2111	竹谷　和真	13″02
200m	優勝	3135	山口　晃生	26″55
	2位	2315	竹内　大介	27″00
	3位	2205	岡　羚音	28″20
900m	優勝	3237	山田優太郎	2′42″04
	2位	2106	木村　祐晟	2′47″31
	3位	3133	三野　陽翔	2′47″32
走高跳	優勝	3217	芝田　悠翔	1m60cm
	2位	1128	水口　新太	1m60cm
	3位	2132	山下　快琉	1m55cm
走幅跳	優勝	3206	形田　大知	5m50cm
	2位	3326	保科　舜	5m50cm
	3位	3124	新田　涼介	5m20cm
ジャベリック投	優勝	2110	竹内　謙介	42m70cm
	2位	3320	北　啓汰	41m84cm
	3位	3224	中田　怜来	40m69cm
400mR	優勝	32H		49″62
	2位	22H		50″98
	3位	33H		53″21

部活動R 最速部門	優勝	陸上競技部	49″83
	2位	野球部	50″75
	3位	ラグビー フットボール部	52″29

女子個人順位

種目	順位	HNo.	氏名	記録
100m	優勝	3331	上杉　望笑	15″00
	2位	3338	橋本菜々美	15″38
	3位	1321	鈴木　楓	15″98
600m	優勝	2222	藤井　史菜	2′02″39
	2位	3324	平野　愛華	2′08″03
	3位	3238	山本　京佳	2′12″41
走高跳	優勝	3309	八野田　静	1m20cm
	2位	2312	堅田ひなた	1m15cm
	3位	1338	森　月海	1m15cm
走幅跳	優勝	3302	石倉　朝日	3m80cm
	2位	2318	伊　妃菜	3m77cm
	3位	2319	岡田　珠里	3m70cm
ジャベボール投	優勝	3322	高田　美鶴	34m41cm
	2位	3340	峰　真愛	34m08cm
	3位	1315	黒田　咲智	26m59cm
400mR	優勝	3年		1′02″35
	2位	1年		1′08″15
	3位	なし		

部活動R パフォーマンス部門	優勝	参加した部 全部	
	2位	なし	
	3位	なし	

第56回校内陸上競技大会

六月七日(水)に校内陸上競技大会がおこなわれました。天候にも恵まれ素晴らしい大会になりました。参加した生徒全員が真剣に協議に取り組み、各クラスの応援も非常に活気あふれるものでした。またPTAのみなさんが給水所を開設してくださり、多くの生徒がお世話になりました。部活動対抗リレーのパフォーマンス部門では各部趣向をこらしたパフォーマンスをおこない、大きな盛り上がりをみせました。